

株式会社 ^{なんばり} 南張農産【志摩市浜島町南張地区】

- 集落営農組織の経営安定化に向け、**県外出身の青年を受け入れて株式会社を設立！**
- 特別栽培米コシヒカリ「珠光」**の作付けを全面的に行い、**収益力を向上！**

地域の概要

南張地区は、志摩半島南部にあり、南部は熊野灘に面している。

当地区で生産される特別栽培米の**コシヒカリ「珠光」**や南張メロンは、志摩市の名産品として知られ、ふるさと納税の返礼品にも採用されている。



南張地区の水田

取組の背景

ほ場整備をきっかけとして、平成6年に地区の総農家79戸が参加する南張営農組合が設立された。全作業受委託契約により、約30haの水田で特別栽培米コシヒカリ「珠光」を栽培している。営農組合設立後20年以上が経過し、次世代への経営継承が大きな課題となる中、40代の後継者候補を雇用できるめどがたったことから、平成28年度に法人化された。

取組のポイント

ポイント1 経営安定化に向け、集落営農組織を法人化して農地を集積

- ・南張地区だけではなく、将来は志摩市全体の担い手となることをめざし、「経営理念」をしっかりと定め、法人化の検討をスタートした。
- ・JAや県、市も参加する検討会で後継者問題や運営方法等の議論を重ね、平成29年2月に、「株式会社南張農産」が設立された。
- ・法人化後は、経営の安定化を図るため、農地中間管理事業の活用により、作業受委託契約から農地の貸借契約に変更する手続きを進めている。

ポイント2 次世代継承をめざし、県外出身者を取締役として受け入れ

- ・県外出身で農外から参入した青年(40代)をオペレーターとして雇用することができ、次世代継承のめどがたった。この青年は、株式会社の取締役としても名を連ね、経営の中核を担う人材として期待されている。

ポイント3 特別栽培米の作付けにより収益を確保

- ・全ての農地で、地域の慣行レベルに比べて、農薬や化学肥料の窒素成分を50%以上削減した特別栽培米コシヒカリ「珠光」を栽培し、収益力向上に努めている。



JA鳥羽志摩特別栽培コシヒカリ「珠光」

今後の展望

次世代に農地を引き継いでいくため、特別栽培米「珠光」を経営の柱に、地域の農地を集約化していく。

◆本事例に関する問い合わせ先◆

三重県伊勢農林水産事務所農政室地域農政課
電話 0596-27-5164